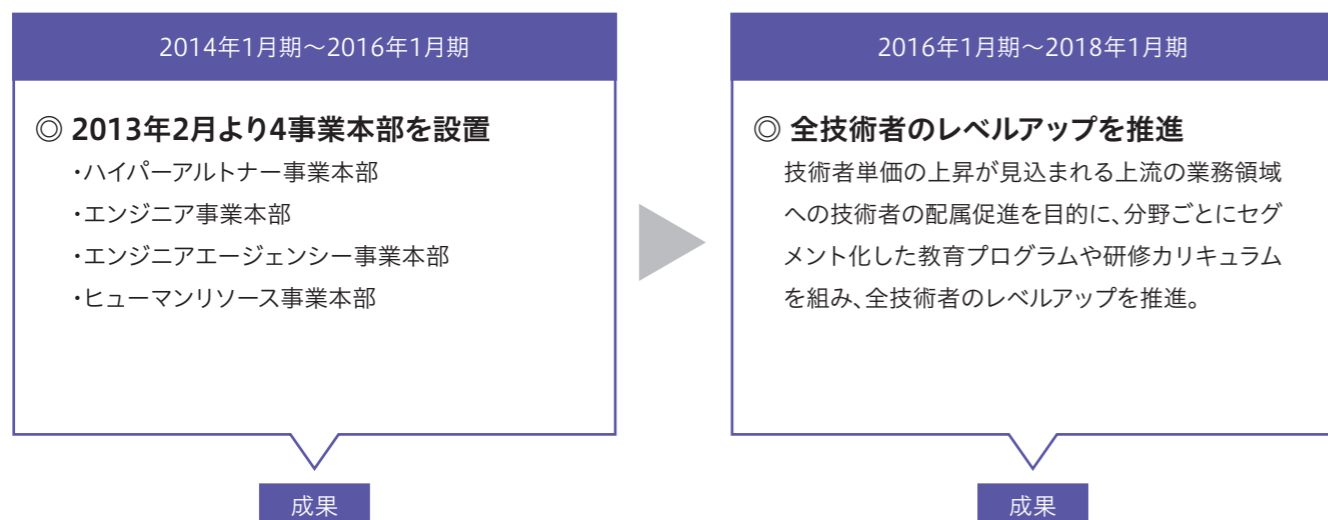


中計策定の背景

厳しい競争環境下で優秀な人財を確保していくためには、技術者や学生に共感を得られるような事業モデルの構築が不可欠。より良い採用こそがすべての入り口。

〈基本方針〉

事業モデルを刷新し、リーマンショックからの本格回復を期し、 更なるステージアップに挑む



- ◎技術者の質の向上を目指すために採用基準を引き上げ。
- ◎顧客企業において技術者が参画するプロジェクトのステージが上位にシフト。
- ◎新卒技術者の初配属単価が向上。全社でも技術者単価の順調な改定。
- ◎1人当たりの売上総利益はリーマンショック下落前の水準に回復し、過去最高値を更新。

	(最終年度目標)	(最終年度実績)
売上高	60億円	47億円
営業利益率	10%	9.1%
技術者数	800人	601人

次の中計に引き継ぎ

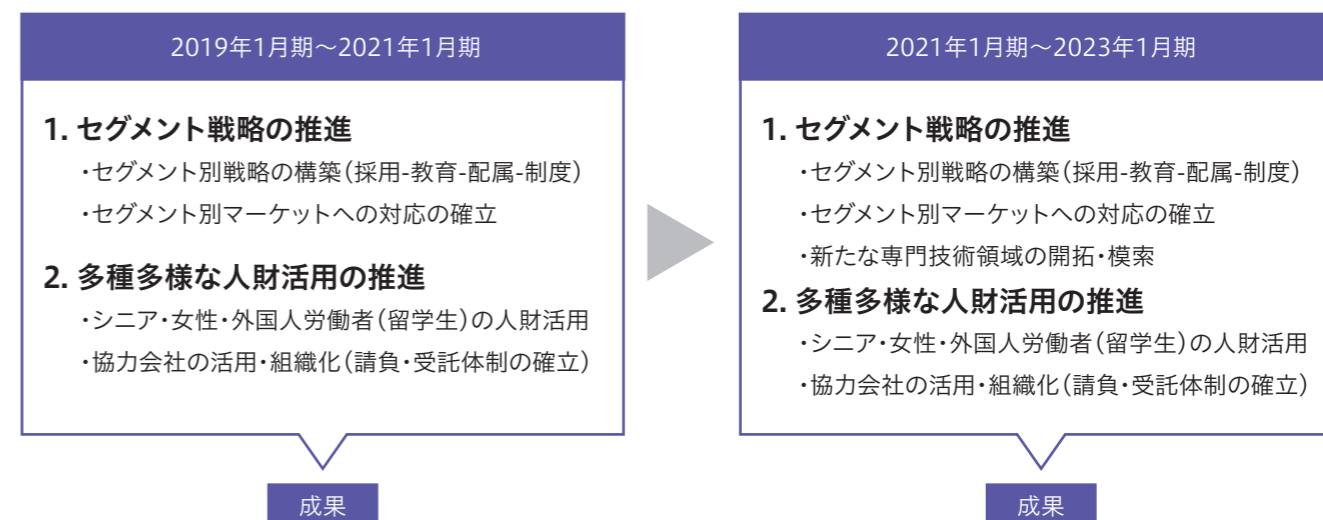
顧客企業における技術者の業務領域を下流から中・上流へと高め、技術者単価を上昇させていくことができれば、景気変動の影響を受けにくくなる。更なる業績向上のため、現状の技術者の質を維持しつつ、絶対数を増やしていく。

中計策定の背景

顧客企業のニーズ、モノづくりの工程で多様化する業務領域に対応するために、セグメントを3つに分類し顧客企業に対してマッチング精度の高い技術者の供給を実現する。また、シニア、元技術者の女性、留学生をはじめ外国人の方を積極的に活用することを目的として、請負・受託事業を拡大し、人員構成比率10%に高める。

〈基本方針〉

持続的成長および次世代成長のための 基盤を構築する



- ◎業績が増収・増益で推移。
- ◎技術者数が目標未達のため、基本方針「持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する」に関しては、進捗が不十分。

	(最終年度目標)	(最終年度実績)
売上高	75億円	71億円
営業利益率	12.5%	12.4%
技術者数	1,000人	971人

次の中計に引き継ぎ

- ◎基本方針・基本施策を継続
- ◎実行手段「新たな専門技術領域の開拓・模索」を追加

- ◎上流の業務領域へ技術者の配属が進捗し、技術者単価が上昇したことにより、営業利益率が目標を上回った。
- ◎事業モデルの刷新(4事業本部の設置)により、技術者が当社に魅力を感じ、離職率が低下。

	(最終年度目標)	(最終年度実績)
売上高	60億円	57億円
営業利益率	10%	11.8%
技術者数	800人	716人

次の中計に引き継ぎ

売上高の目標未達は、技術者数の目標未達が主因のため、技術者の確保に対する戦略的な対応を次の中期経営計画の《基本施策》に織り込む。

- ◎業績が増収・増益で推移。
- ◎営業利益率が更に向上。

	(最終年度目標)	(最終年度実績)
売上高	100億円	92億円
営業利益率	12.5%	12.9%
技術者数	1,300人	1,157人

基本方針

持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する

Make Value for 2022 to 2024

基本施策

- 1. セグメント戦略の推進**
 - ・セグメント別戦略の構築 (採用-教育-配属-制度)
 - ・セグメント別マーケットへの対応の確立
 - ・新たな専門技術領域の開拓・模索
- 2. 多種多様な人財活用の推進**
 - ・シニア・女性・外国人労働者(留学生)の人財活用
 - ・協力会社の活用・組織化 (請負・受託体制の確立)

アルトナーの持続的成長および次世代成長の考え方

地球規模で社会環境が変化していく中で、企業にとって、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に基づく取り組みなど社会的課題への対応が重要な経営課題。

当社は事業活動の柱に「カーボンニュートラル」を据えて、採用・教育・営業の社内体制を構築

事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献し、企業価値を向上させ、ステークホルダーの皆様に還元。持続的成長および次世代成長の基盤構築を進めていく。

「カーボンニュートラル」の取り組みの方向性

当社の主要顧客である自動車業界等に対して

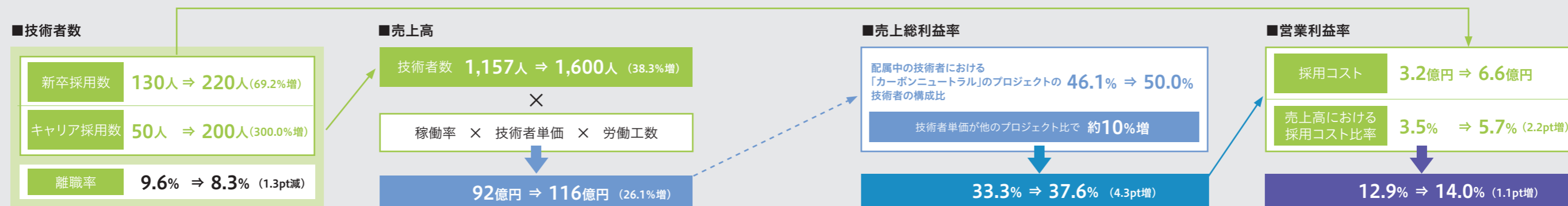
- ・走行時にCO2を排出しないEV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)
- ・インフラ(充電インフラ、水素ステーション)
- ・自動運転、半導体等に関連する開発プロジェクトへの当社のエンジニアの参画

開発の進展、市場での普及を目指す

「カーボンニュートラル」に対する採用・教育・営業の取り組み

採用	教育	営業															
<p>〈採用対象〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気・電子、材料物性、エネルギー、情報分野の学科を卒業した学生 ・上記分野のスキル・経験を有する社会人経験者 <p>マッチング人財の採用強化のため、新卒採用に偏重の採用方針を変更 → 新卒・キャリアの採用数をバランスさせ、人財の確保に努める</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">新卒・キャリア採用における「カーボンニュートラル」採用対象の構成比</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2025年 1月期(目標)</td> <td style="text-align: center;">2023年 1月期(実績)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新卒</td> <td style="text-align: center;">55.0%</td> <td style="text-align: center;">46.1%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">キャリア</td> <td style="text-align: center;">55.0%</td> <td style="text-align: center;">62.0%</td> </tr> </table>		2025年 1月期(目標)	2023年 1月期(実績)	新卒	55.0%	46.1%	キャリア	55.0%	62.0%	<p>〈研修内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「EV、FCVの動力系(インバータシステム)の原理理解」 「クラウド化によるインフラリソースとAI/機械学習による人・モノの流れの最適化」 「EVのバッテリーマネジメントシステムのモデル設計、検証」 「センサー類の特性評価の結果解析手法」 「ケミカルリサイクルとマテリアルリサイクル」 <p>益々、高まるソフトウェア、電気・電子領域のエンジニアニーズに応える → 研修スタッフを増強</p>	<p>〈活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カーボンニュートラル」のプロジェクトに配属 ・社会的課題の解決に貢献し、業績を向上させる <p>技術者単価が他のプロジェクト比で約10%プラス → 売上高、利益率が向上</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">配属中の技術者における「カーボンニュートラル」プロジェクトの技術者の構成比</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2025年 1月期(目標)</td> <td style="text-align: center;">2023年 1月期(実績)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50.0%</td> <td style="text-align: center;">46.1%</td> </tr> </table>		2025年 1月期(目標)	2023年 1月期(実績)		50.0%	46.1%
	2025年 1月期(目標)	2023年 1月期(実績)															
新卒	55.0%	46.1%															
キャリア	55.0%	62.0%															
	2025年 1月期(目標)	2023年 1月期(実績)															
	50.0%	46.1%															

中期経営計画 業績目標と重要指標の相関図 ※ □⇒□…(2023年1月期)⇒(2025年1月期)の数値



産業技術のコアとなる「ソフトウェア」「電気・電子」「機械」で、技術革新を推進するテクニカルパートナーとして貢献しています。

ソフトウェア 売上高構成比 39.4%

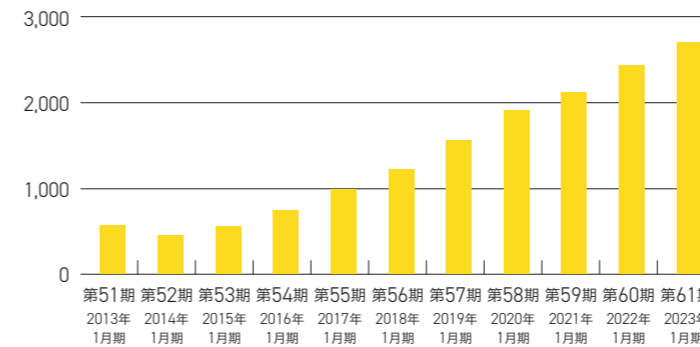
IoT機器に組み込まれるソフトウェアやネットワークシステムのアプリケーションソフトウェアの開発を行います。

設計分野として、エンベデッド(機械や機器に組み込まれる制御システムのソフトウェア開発に対応)、ITソリューション(PC、タブレット端末やサーバを対象とするネットワークシステムのソフトウェア開発に対応)、モデルベース(モデルに基づいた先行研究、及び新規開発の開発フェーズにおける要件定義や設計など上流工程に対応)などがあります。

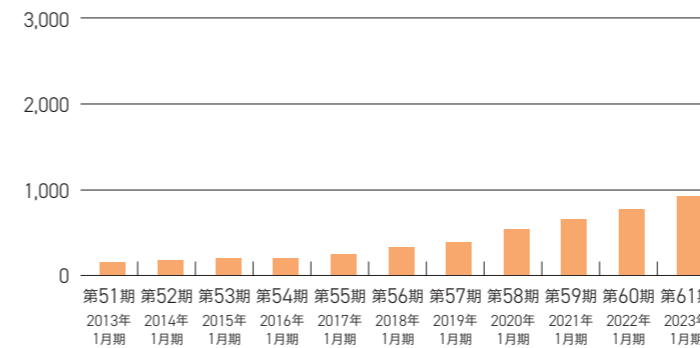


■ 分野別売上高 推移 単位:百万円

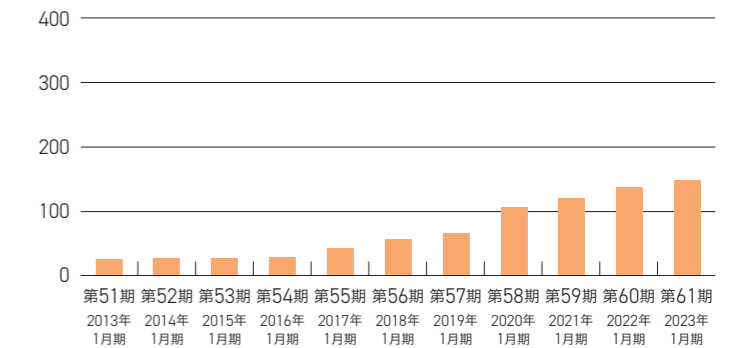
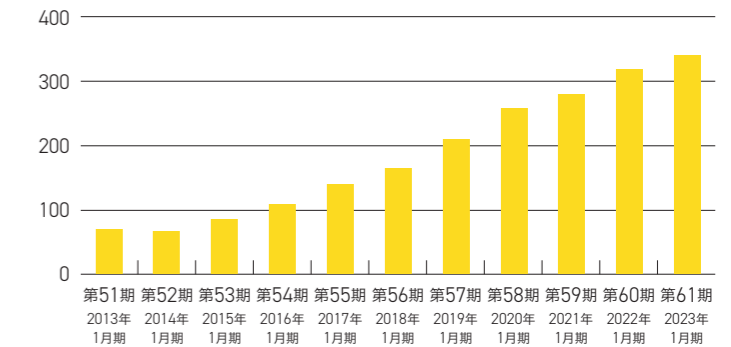
■ ソフトウェア(エンベデッド・モデルベース)



■ ソフトウェア(ITソリューション)



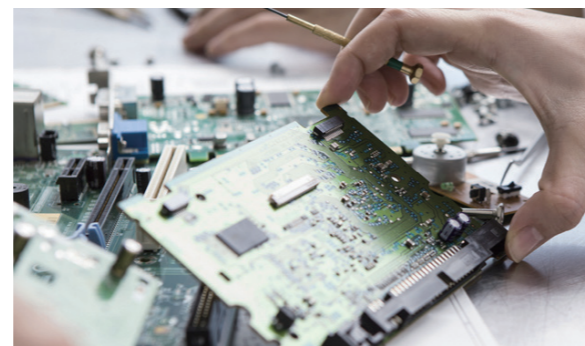
■ 技術者数 推移 単位:人



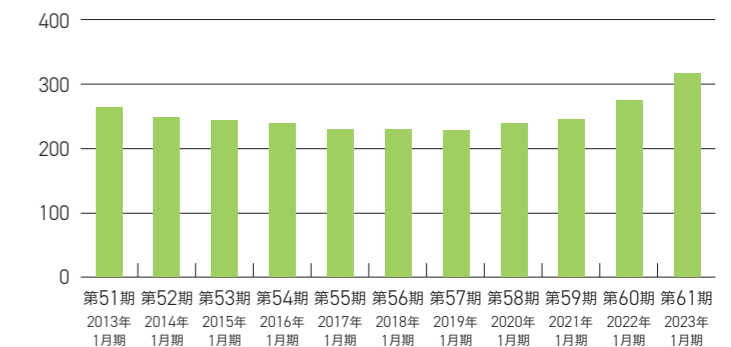
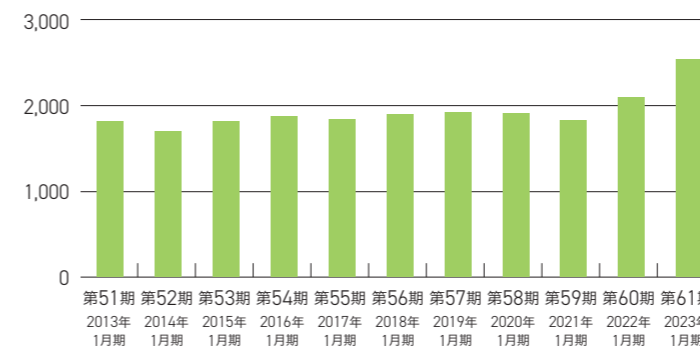
電気・電子 売上高構成比 28.1%

機器や装置の心臓部となる回路基板設計、信頼性評価を行います。

設計分野として、電気機器(電気設計並びに生産設備とその技術に対応)、電子回路(プリント基板を対象とした電子回路設計に対応)、電子デバイス(集積回路、及び電子デバイス単体の開発、周辺回路設計に対応)などがあります。



■ 電気・電子



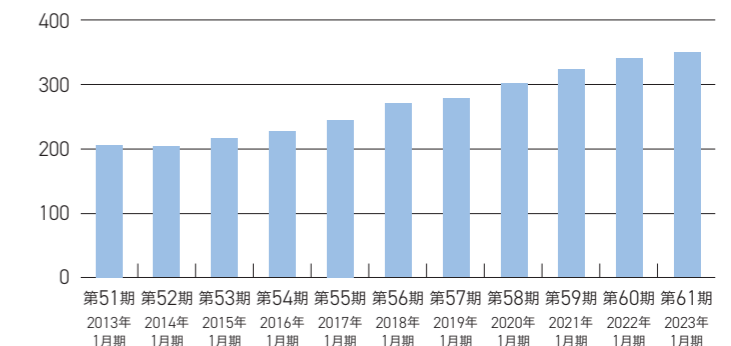
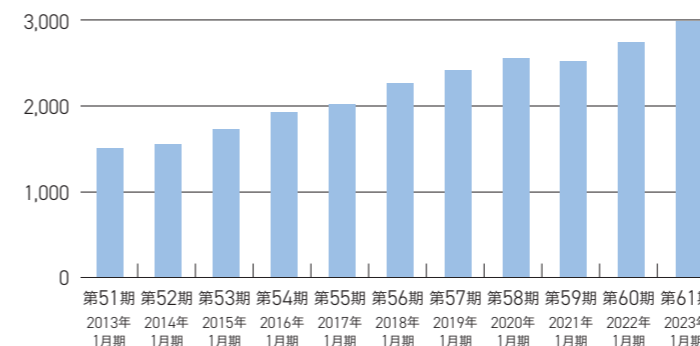
機械 売上高構成比 32.5%

2D・3D CADを使用して、機械が動く仕組みの設計を行います。

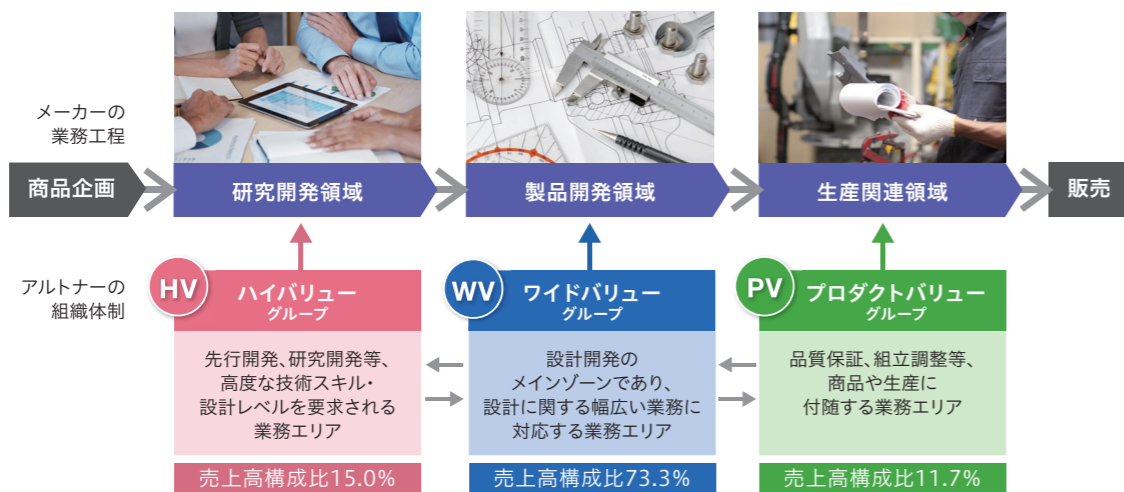
設計分野として、駆動システム(エネルギーを生成、変換、蓄積、伝送する仕組みの開発に対応)、機構(生産設備、装置のメカニズムの開発に対応)、構造・素材(デザインをベースにした商品の形状設計、構造物・筐体の設計、新素材の開発に対応)などがあります。



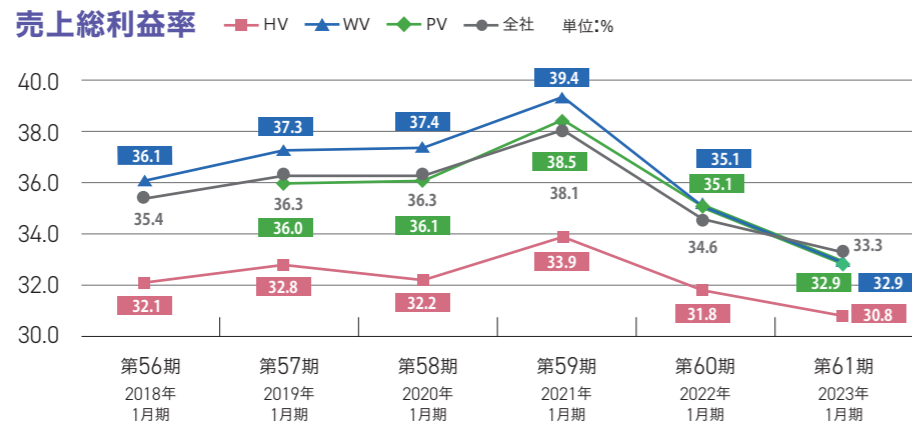
■ 機械



メーカーの業務工程に対応する当社の各グループ

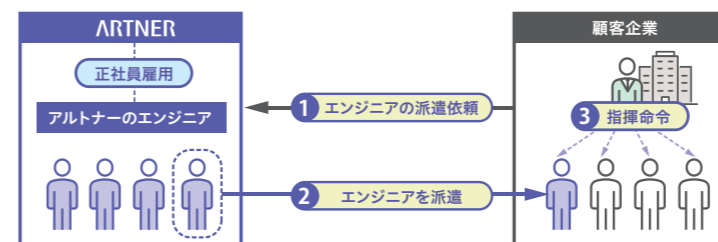


グループ別 売上総利益率

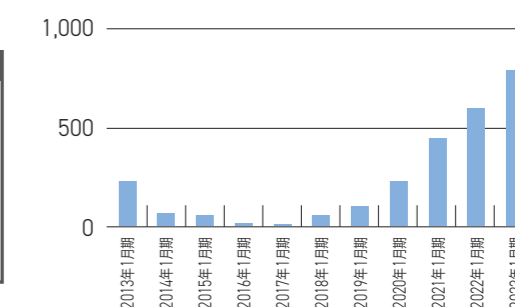
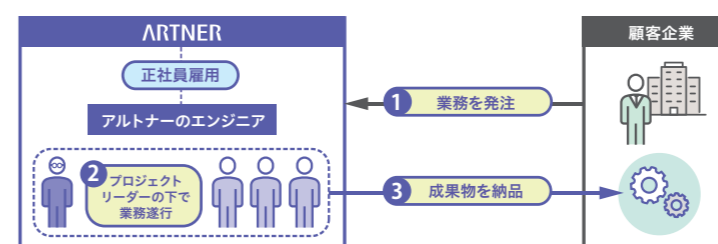


事業別売上高 推移 単位:百万円

技術者派遣 売上高構成比91.0%

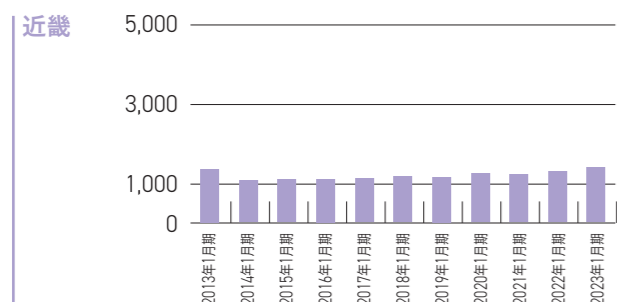
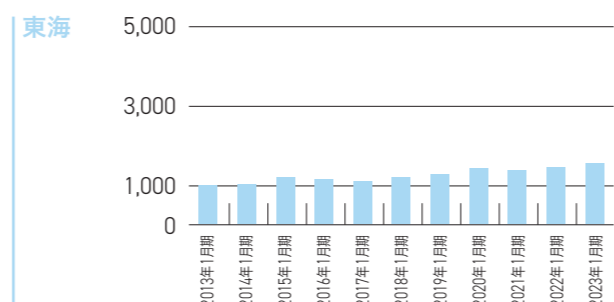
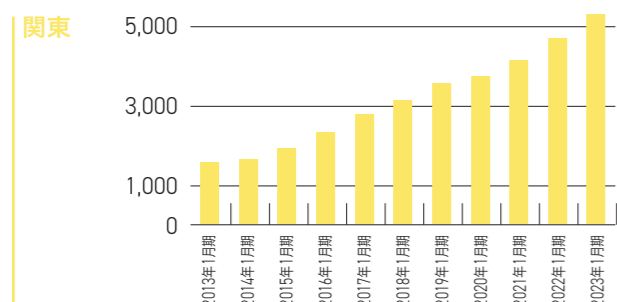


請負・受託 売上高構成比8.6%



その他 売上高構成比0.4%

地域別売上高 推移 単位:百万円



業種別売上高 推移 単位:百万円

